

令和8年3月11日
航空局航空戦略室

新たな SAF 原料が日本の提案により ICAO の CORSIA に登録されました ～SAF 原料の多様化に向けて～

国土交通省航空局の提案により、ICAO（国際民間航空機関）の CORSIA^{※1} における SAF^{※2} 原料として、新たに「ココナッツテスト」「乾燥ココナッツパルプ」「パンガシウス加工くず」「産業廃棄物の生物起源分」「建築/解体廃棄物の生物起源分」が登録されました。

※1 Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation : ICAO における国際航空分野の炭素排出削減制度

※2 Sustainable Aviation Fuels : 持続可能な航空燃料

- 航空分野の脱炭素化のためには SAF の製造供給拡大が重要ですが、現在の主要な SAF 原料である廃食用油だけでは必要量の SAF を製造・供給出来ないため、多様な原料の確保が急務となっています。
- 航空局では、「持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた官民協議会」の下に設置した「SAF 認証タスクグループ」におけるパイロット事業として、日本の事業者と協力し、ICAO への SAF 原料追加登録の提案を行っています。
- 本パイロット事業の今年度の成果として、航空局が ICAO に提案した「ココナッツテスト」「乾燥ココナッツパルプ」「パンガシウス加工くず」「産業廃棄物の生物起源分」「建築/解体廃棄物の生物起源分」が CORSIA における SAF 原料として登録されました。登録された各原料の定義は ICAO 文書^{※3} をご参照ください。
- これらの原料の登録は以下の観点で日本の SAF の生産拡大及び安定供給に資するものです。
 - ・ココナッツテスト、乾燥ココナッツパルプ：食品製造過程で発生する加工残渣を原料として活用できるようにした。
 - ・パンガシウス加工くず：SAF 原料として着目されていなかった原料を使用可能にした。
 - ・産業廃棄物・建築/解体廃棄物の生物起源分：量的にポテンシャルのある国内入手可能な原料を活用できるようにした。
- 航空局は今後も ICAO において原料の多様化につながる新規原料登録に取り組み、日本及び世界の SAF 製造者の原料確保、ひいては航空分野の脱炭素化に貢献していきます。

※3 CORSIA Methodology for Calculating Actual Life Cycle Emissions Values

<問合せ先>

航空局 航空戦略室 村瀬・呉・川西

TEL : 03-5253-8111 (内線 48173、48175)、03-5253-8722 (直通)

(参考資料) 原料についての説明

ココナッツ		
(加工前)	ココナッツテスト	乾燥ココナッツパルプ
 <p>残渣</p>		

パンガシウス		産業廃棄物・建築/解体廃棄物の生物起源分
(加工前)	パンガシウス加工くず	
 <p>副産物</p> <p>写真の出典：photoAC※4</p>		

※4 <https://www.photo-ac.com/main/search?q=%E3%83%91%E3%83%B3%E3%82%AC%E3%82%B7%E3%82%A6%E3%82%B9%E7%A7%91&p=1>

- ・ ココナッツテスト
ココナッツの果肉の薄い外皮。ココナッツミルクなどを生産する過程で除去されたもの
- ・ 乾燥ココナッツパルプ
ココナッツの果肉からココナッツミルクを抽出した後の搾りかす
- ・ パンガシウスの加工くず
養殖場で養殖されたパンガシウスから主製品（フィレ）を取り除いた残りの部分
- ・ 産業廃棄物・建築/解体廃棄物の生物起源分
既存のリサイクル、堆肥化、またはその他の回収作業後の廃棄物のうち、生物起源分（木くずなど）

※各原料の詳細な定義は ICAO 文書※3 をご参照ください。